

| 平成 26 年度認定 | | | |
|---|--------------------------|--|----------|
|   | 氏名 | 加藤 秀次 (かとう ひでじ) | 昭和 21 年生 |
| | 住所 | 福井県福井市 | |
| | 分野 | 木田ちそ (木田チリメンジソ) | |
| | 技術の内容と活動状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「木田ちそ」は、在来種のチリメンジソで、明治時代から栽培。優良系統を選択して自家採種が続けられ、「福井の伝統野菜」に認定。栽培面積は 85a。葉の縮れが強く、肉厚で風味がある。葉を軽く揉むだけで鮮やかな赤色になり、梅干しが綺麗に漬け上がる。 ・ 地域では畑の有効活用策としてカブとの混作栽培が確立。3月にちそとカブを混播し、5月からカブ、6月からはシソを順番に収穫していく。 ・ 生産者 11 名で構成し、共選・共販を行う「木田ちそ生産組合」の組合長として、変動する気象条件下、ちそと梅の出荷時期に合致させ、高品質・安定生産のため、過去の気象と生育のデータを記録し、対応。平成 20 年全組合員がエコファーマー認定。 ・ 梅干しを漬ける家庭の減少に対応し、消費者の安全・健康を考慮して農薬不使用の「木田ちそサイダー」や「梅干しの素」などの商品開発への取組みや生協や首都圏のアンテナショップにおける PR などにも積極的に取り組む。 | |
| | 相談・指導に 応じられる分野 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井の伝統野菜「木田チリメンジソ」について、土づくり・栽培管理等の相談や指導等の講師 ・ 福井の伝統野菜の紹介者として報道機関等の取材の受け入れ ・ 地元小学生・中学生・高校生・公民館行事等の「伝統野菜の良さ等」の PR 活動 ・ 木田地区での現地視察の受け入れ | |
| | 国・都道府県・ 中央団体等の 受賞歴 | | |
| | 主な役職 | 平成 26 年 3 月～ 有限責任事業組合ちそのかほり 理事長 | |
| | HP | | |